

大分教育事務所訪問②-14 (計87)

臼杵市立臼杵小学校に学ぶ2

学校経営から学ぶ

臼杵市だけでなく管内の授業改善のモデル校ともいえる本校の一番の素晴らしさは、不登校が0ということです。それは、授業を中心とした、温かい学級の雰囲気づくりに向けた取り組みや、シェアタイムでは個々の「ちがい」を見合える場を設け、「友達の良いところを見つけたりほめあったりする」ことを指標に設けることで、全校をあげて取り組んでいるからでしょう。そのため、子ども達の自己肯定感も向上しています。



また、コロナ禍にあっても保護者、地域や関係機関との連携を深めながら「防災ノート改定版」をつくり、防災を通じて協働を図っています。

子どものアンケートから「先生は困ったときよく話を聞いてくれる (90→93.9%)」とあるように先生方の実践は素晴らしいと思えますので、今後は、子どもどうし(異学年も含む)で課題を解決するような実践を行うことで、本校が育成を目指す

資質・能力「自己理解・自己管理能力(自己肯定感)」と「協働性」へとつなげてみてはいかがでしょうか。

授業から学ぶ

3年生算数では、分母が同じ分数の大小を比較するという、子どもからすると当たり前と思われるような課題を、子ども達のつぶやきを拾いながらも、説明することの大切さを感じさせながら授業を組み立てていました。特別支援学級算数では、「お手紙」から子ども達にミッションを与え課題解決の意欲を高めていました。また、手作り教具(てんびん)の精度が高いため、一円玉という任意単位で順序を決めることができました。4年理科では、子ども達の発言を村本先生がつかないたり、質問をすることで引き出したりすることで、子ども達の疑問から課題を設定するのは見事でした。そのため、子ども達もディベートのように立場を決めることができ、意欲的に課題解決に向かっていました。

どの授業も「振り返り」と連動した「めあて」が設定されているので、授業者は子ども達のつぶやきを拾える(余裕をもつ)ことができ、そのため、子ども達もやりがいを感じ主体的に課題に取り組んでいたと思います。これからも、授業改善についてチャレンジされ管内にも提供してください!!我々も応援します!!



NO.387 2021年10月 臼杵市立臼杵小学校

やさしさ

発表者の方を向くのは、ルールだからではなく、優しさと思いやりから。そして、自分が学ぶために。



NO.388 2021年10月 臼杵市立臼杵小学校

さいごまで

自分の力で、最後までがんばりぬく。だから、達成感がある。



NO.390 2021年10月 臼杵市立臼杵小学校

共育

子どもは、先生からヒントをもらう。先生は、子どものノートからその子の考えを知る。共に学ぶから共に成長する。



NO.389 2021年10月 臼杵市立臼杵小学校

一生懸命

みんなが納得するまで学び合う。一生懸命になると、もっと良い方法が見つかる。